

## 平成17年度九州地方発明表彰にて発明奨励賞を受賞

地方発明表彰は、(社)発明協会が主催し各地方における発明の奨励・育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的として大正10年に創設されたものです。

平成17年11月7日に当センターの特許である「新規焼酎用酵母及び当該酵母を用いる焼酎の製造法」が地方発明表彰のうち、発明奨励賞を受賞しました。本特許は、発明者が当センター所属の高峯和則、瀬戸口眞治、亀澤浩幸、水元弘二(元当センター所長)です。

特許内容は、本格いも焼酎特有の香りを抑えた焼酎製造技術に関するもので、設備投資や新規な技術を導入することなく、いも焼酎特有の香りを抑えつつ、風味を損なわない焼酎の製造を可能とするものです。酵母としては、焼酎の香気成分で

あるイソアミルアルコール、酢酸イソアミル、  
- フェネチルアルコールを高生産する酵母を用いています。

現在、県内4社の焼酎メーカーで本技術を採用し、実績をあげています。

このほか、鹿児島県では、薩摩酒造(株)が支部長賞を受賞されました。



## 静電気対策技術研究会(鹿児島ハイテク研究会)が発足

電子部品の製造現場等で大きな問題となっている静電気トラブルに対応する研究会として「静電気対策技術研究会」を発足し、10月5日に第1回講習会を開催しました。

「エレクトロニクス産業における静電気トラブル防止」- 静電気の基礎から対策の具体例 - というテーマで、春日電機(株)の鈴木輝夫氏に静電気の帯電現象や除電方法などについての実験や、

静電気対策の最新動向などについて分かりやすく解説して頂きました。県内電子関連企業を中心に107名の参加があり、活発な質疑がなされました。

今後も講習会などを通して、静電気対策技術の向上を図るとともに、提案公募型の共同研究事業などに発展させていく予定です。



講習会風景 1



講習会風景 2

## ものづくりフェスタ'05に出展

10月7, 8日に社団法人鹿児島県工業倶楽部主催による「ものづくりフェスタ'05」が開催されました。会場となったかごしま県民交流センターでは、63の企業・団体が参加し、多くの来場者がありました。

当センターからは、最近研究を行った「山川漬の健康機能性」や「LEDを用いた異物検出手

法」など5つの研究成果を展示しました。来場者は、食品の機能性や陶磁器及び木炭等の研究試作品に関心を寄せていました。

また、隣の展示ブースでは、当センターが事務局を務める鹿児島県システムエンジニアリング研究会がプレート彫刻システムを展示し、彫刻の実演で注目を集めていました。



出展風景 1



出展風景 2

## さつまいもフェスティバルに出展

さつまいも伝来300年記念イベントとして11月5, 6日に開催された「さつまいもフェスティバル企画展示」に、当センターのさつまいも関連の研究成果を展示しました。

当センターでは、さつまいもを用いた発酵食品の研究を行っており、さつまいもを用いたオレンジ色や紫色の味噌、それを用いたドレッシングや豚味噌及び芋焼酎用に開発した高香気生成酵母等の研究成果を展示しました。

会場となったかごしま県民交流センターには、期間中に多くの方が訪れました。当センターの展示ブースの前では、オレンジ色や紫色のドレッシング等を手にとって質問される方が多く、関心の高さがうかがえました。

さつまいも味噌を用いた食品は、すでに商品化されマスコミ等に取り上げられるなど、当センターの研究成果の実用例として最近話題になっています。



さつまいもフェスティバル展示風景 1



さつまいもフェスティバル展示風景 2